

双葉幼稚園ってこんなところ！！

三角園舎の中で、広い園庭で、ときには信州須坂の自然の中で、子どもたちがどんな風に過ごしているか、先生たちはどんな思いで保育に当たっているかをご紹介します！是非、三角の幼稚園パンフレットの子どもたちの笑顔をご覧になりながら読んで頂けると幸いです。



【一日の流れ】

登園(8:30~9:00)

朝の自由遊び・体操(登園後～)

・朝、登園するとまず自由遊びから始まります。園舎にはキャットウォークや屋上テラス、築山もあり、“園舎全体が遊具・遊び場”といったコンセプトの中、子どもたちは毎日のびのびと遊んでいます。先生たちは朝、子どもたちが登園する前に園庭やホールに遊びの環境設定をします。(ラインを引いたり、遊具を出したり、サーキットを作ったり、モノの置き方一つとっても安全かな……とか、遊びたくなるかな……とか試行錯誤しています)

晴れた日は、とにかく外遊び！！自分のやりたい遊びを選んで、挑戦したり、工夫したり、時には失敗もして、「明日も続きやりたい！」と遊び込める子どもに育てて欲しいと願っています。

保育の世界ではよく、“自由遊びは宝”と言われています。子どもたちが直接体験をして感じたり、発見したり、不思議に思ったり、工夫したりすることこそが学びだと考えられているからです。

2018年4月に幼稚園教育要領が改定され、「幼児期の終わりまでに育てて欲しい10の姿」が明確になり、3・4歳を含む長い育ちの中で、小学校以降へつなげていくことを目指すとされています。また、【アクティブラーニング】:主に3つの学び

①主体的な学び

(子どもたちの“やってみたい！”を引き出しつつ遊び、振り返ったり見通しを持つ)

②対話的な学び

(自分の思いを伝え、アイデアを出し合い、また考え出す)

③深い学び

(活動を通して自分で気づいたり、先生や友だちと話し合いながら考えを深めていく)

が必要であると考えられています。

園としても、何をを目指すのか全体的な教育課程の見直しを行い、日々の活動においても【アクティブラーニング】の視点で保育を心掛けています。

私たち保育者は、子どもたちが主体的に遊べるよう、その時の子どもたちの姿から「やってみたい！」と思えるような遊びを提供したり、環境を整えながら一緒に遊び盛り上げたり、時には一歩下がって見守る“遊びのプロ”でありたいと日々勉強中です！！

朝の活動・クラス保育について(10:15~)

行事への取り組みはもちろんですが、主には『遊び』を大切にしています。本園は H29年に信州やまほいく(信州型自然保育)の認定を受けており、特に今年度はコロナ禍ということもあり、戸外での活動を積極的に取り入れ、春先からどンドン園外に出かけ、緑地公園・臥竜山・八幡神社などで自然に触れて遊んでいます。また職員の園内研究においてもテーマを「園外保育における子どもの自然との関わり方を見つけよう！」と設定し、大人が思っていた以上に子どもたちの視線は低い位置だったな・とか、こんなモノにも魅力を感じるんだな・などと先生たち自身が自然へ目を向け、その中で子どもたちが何を体験し、何を感じて欲しいか、何を育てたいかを考えながら園外保育も積極的に取り入れています。

また、季節に応じて……

春:草花遊び、ジュース屋さんごっこ

夏:色水遊び、ボディペインティング、プール遊び

秋:自然物(どんぐり、松ぼっくりなど)を使った製作活動

冬:雪遊び、氷遊び(氷作りの実験など)

通年:泥だんごづくり、砂遊び、虫探し

など..

子どもたちが『やってみたい！！』『楽しそう！！』とときめくような活動に工夫をし、「明日もまたやりたいね！」「もっともっと！」と継続して遊び込めるよう、“今”子どもたちに何を体験させたいか子どもたちの興味や発達段階を踏まえ、環境を整えながらクラス保育を計画しています

事例①:5歳児年長

<氷作りをしよう！>

・1月下旬、降雪が少なく雪遊びができない時は、子ども達と氷づくりも楽しんでます。年長になると、先生や友だちと一緒に話し合いをしながら、「この場所はどうか？」「ここは日陰だね」などと、今までの経験から試行錯誤して、主体的な学びにつなげていきます。年長にもなると、それを表にして比べることも楽しんでいました。

事例②:4歳児年中

<おたまじゃくしを育てよう>

・5月、保育者が見つけてきたカエルの卵をみんなで育て始めました。水槽の中に入れ、毎日ならめっこ！「何を食べるのかな？」「水槽の中はどうすればいいの？」とお友だちや先生と対話をしながら観察をしました。すると手が出て、脚が出て、尾が取れて……と、変化を目の当たりにして子どもたちも大興奮！！カエルの模様や色の違いにも気づき、名前までもつけて大事に育て、夏休み前には、お別れ(近隣の田んぼへ戻しました)もして、命の大切さも学ぶ機会になりました。

・よく、保護者の方から『文字や数字のお勉強をさせていますか』と聞かれますが、一斉活動で教え込むといったことはしていません。あくまでも遊びの中で、生活の中で(ロッカーの名札や掲示物などと)自然と知って覚えていくようにしています。

給食について (11:30頃～)

H30年度より自園給食(日清医療食品さんによる委託)になりました。一番は温かいものが食べられることが子どもたちの食欲もそそり、喜んで食べている子が多いです。栄養バランスもよく、アレルギー対応も可能ですので、安心・安全な給食を提供していただいています。(子どもたちには魚料理が人気。要望もきいてくださり、行事食やおはなしメニュー、子どもたちの希望献立などにも対応して下さります。)

本園では食育も並行して取り組んでおり、まずは座る姿勢や食器の持ち方・置き方といった基本的なマナーから始まり、野菜を実際に育てて大変さを知ったり命を頂いていることに気づいたり、栄養素の話や“自分の身体にはどれだけの量が必要か”など栄養士さんから食育講習も開いて頂いています。

入園にあたり、「うちの子、偏食で心配・・・」「量も食べられなくて・・・」と心配される保護者の方もいらっしゃると思いますが、無理強いせず、『お友だちや先生と一緒に食べるとおいしいね』という楽しい雰囲気づくりを大切にしていきたいと思っています。

お昼寝について(12:50頃～)

- ・年少、つぼみ・・・通年
- ・年中・・・4月～9月
- ・年長・・・なし

ぐっすり眠る子もいれば、環境が変わるとなかなか眠れない子もありますが、横になるだけでも身体は休まるので1時間ほどとっています。

おやつについて(14:00頃～)

基本的には手作りのものです。誕生会にはミニサイズのケーキやアイスも出て、子ども達も喜んでいただいています。

帰りの活動 (14:20頃～)

楽しかった一日を、振り返ります



降園 (15:00～)

延長保育 (降園後～18:30)